

医療関係者を支援 東濃信金が150万円

県へ寄付

東濃信用金庫は、新型コロナウイルス対策に従事する医療関係者支援のため、150万円を県に寄付した。

同金庫では8月まで、県

の「ふるさとぎふ振興寄付金」に寄付する医療従事者応援定期預金「たすけあエール」を取り扱った。募集総額300億円に達したため、預入総額の0・01%相当額(300万円)から岐阜県と愛知県に150万円ずつ寄付した。

県庁で行われた贈呈式では、同金庫の市原好二理事長が古田肇知事に目録を手渡した。市原理事長は「オール岐阜でコロナに立ち向かいたい」と述べ、古田知事は「インフルエンザの季節と重なり今後も油断できない状況が続く。寄付金を大切に活用させていただく」と語った。

(湯浅裕作)



古田肇知事に目録を手渡した市原好二理事長(右)＝県庁